

やさしい野菜づくり



キャベツ

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
初夏どり				●	○	●	●	●	●	●	●	●
秋冬どり											●	○

●種まき ○植えつけ ※収穫

育て方のポイント

生育適温 15～20℃(前半20℃、後半15℃)
23℃を超えると生育抑制、28℃を超えると生育停止

- ①畑の準備**
 - 作付予定地は、石灰をまいて耕しておく
 - 活着をよくするために、定植前の畑を湿らせておく
- ②種まき**
 - 直播きでは、生育が揃いにくいのので自家育苗又は購入苗がおすすめ!
- ③植えつけ**
 - 定植前の苗へ充分、灌水する
 - 本葉4～5枚の頃に定植する
 - 株間は40cm程度を目安とし、早生種は狭く、晩生種はやや広くとる
- ④管理**
 - 追肥は、結球開始期までに2回に分けて施す
 - 植え付け後は、害虫防除のための寒冷紗等の被覆が有効

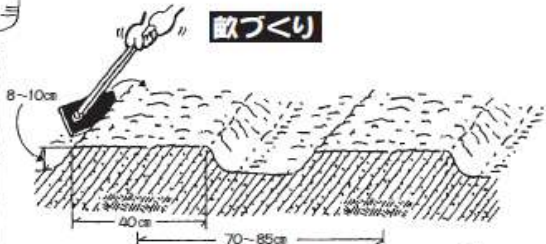
ワンポイント

- 水を好む植物のわりに湿害を受けやすいので注意
- 葉の折みられる紫の色素はアントシアンの発生(低温、乾燥、肥料切れが原因)
- 根こぶ病の発生回避のためにCR系の品種を使用すると良い
- 基肥が多いと下葉が大きくなりすぎ腐敗病やナメクジが発生しやすい

施肥例(1㎡あたり)

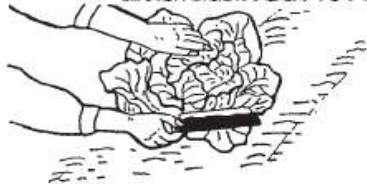
肥料・堆肥	基肥	追肥		備考
		①	②	
舌土有機化成特A801	150g	50g	50g	
舌土石灰	100g			
コンポストエース	2kg			

※追肥1回目は、植え付け2週間後に株元に使用し、2回目は結球開始前につねりに施す

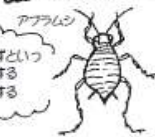


秋まきのほあい、品種とまきどきの関係が適切でなかったり、あまり秋のうちに生育が進みすぎたりすると、とう立ちすることがある

収穫 手で押さえてみてがたく締まってきたら収穫する(振り廻れて雨にあうと裂球するので注意)



病虫害防除



青虫はかならずといってよほど発生する早いうちに摘除する